



バンキアン地区保育所 ©小林正典



認定NPO法人  
幼い難民を考える会  
CARING FOR YOUNG REFUGEES

2009年6月  
NO.90

# Children, Our Future

## 子どもたちの明日

### 目次

カンボジアでのシルク製品販売 織物事業マネージャー チュム・チャン・ポパー	2
「みんなで布チョッキン」に、ご協力ありがとうございます	4
卒園児の「今」 サム・バンニーさん	6
「カンボジアへ行ってきました」 東南アジア保育支援実行委員会	7
～連載～ 給食レシピ①「ひき肉と玉ねぎの卵炒め&お粥」	8

幼い難民を考える会(CYR)は、難民となったカンボジアの子どもたちがけんめいに生きようとする姿に触発され、1980年に組織されました。子どもたちが心身ともに健全に成長し、その親たちが人間らしい生活環境のもとで自立できることが、難民を出さない平和な社会につながることを信じ、復興をめざすカンボジアで活動を続けています。



カンボジア織物の美しさは世界に知られています。  
それは、人から人の手へ、見よう見まねで  
代々伝えられてきた貴重な文化です。  
CYRは、カンボジアの農村に暮らす女性たちの経済的自立と、  
戦争で失われかけた伝統文化の復興を目的として、  
織物研修センターで指導を行っています。  
女性たちは、家事や農業をしながら生地を販売することで、  
家族の生計を支えます。

カンボジアにあるCYRのショップでは、  
研修を終えた女性たちの製品を販売しています。  
将来は、この収益で研修センターの経費をまかなうこと。  
これが、私たちの大きな目標です。



ショップの前で、スタッフみんな集まれ！



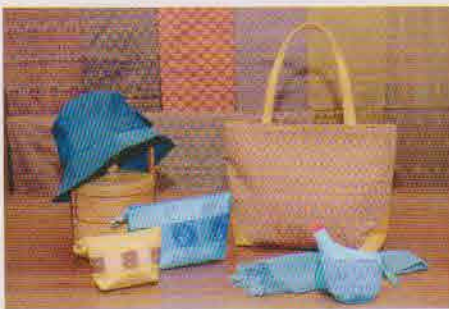
ビダン ©小林正典



縫製作業。ひとつひとつ丁寧に仕上げます。©小林正典



ショップ。©小林正典



シルク製品 ©小林正典



ビダン ©小林正典

カンボジア事務所、織物事業マネージャーの  
チュム・チャン・ポパーが、販売についてお話しします。



CYRカンボジア事務所  
織物事業マネージャー  
チュム・チャン・ポパー

### 「ピダンが外国人に人気」

首都プノンペンにあるCYRのショップには、生地、スカーフ、バッグ、小物など、たくさんの製品が並んでいます。これらの中でも「ピダン」と呼ばれる布は、一番興味深い製品のひとつです。ピダンは、カンボジアのお寺の天井に飾る布で、模様には仏の前世や天女、動物など仏教にまつわるお話が描かれています。世界でも稀な織物で、デザインが複雑なために織ることができる人は限られています。



ピダン展

プノンペンにあるレウムというギャラリーでは、昨年ピダン展示会が開かれ、研修センターのトレーナーや、修了生の作品も展示されました。その後はたくさんの外国人のお客さんがピダンを見に来店されました。括り技術の高度な模様とカンボジアの織物にみなさんが感心され、購入する方もいらっしゃいます。

ショップでは、3種類のピダンを販売しています。2~4mの大きなもの、1mの3段模様のもの、額に入れた小さなものです。製作には大変な時間と技術を必要とするため、価格も決して安くありません。通常2mで\$150~\$380ですが、複雑で難しい模様のために\$680する作品もあります。8月から12月は、お客さんが多い季節です。ピダンの販売は、私たちにとっては大きな収入であり、カンボジアの伝統文化を守ることもつながります。

### 「ショップの売上をのぼしたい」

売上を伸ばすためには、様々な努力が必要です。少しでも多くの観光客の方々に私たちのことを知っていただくためには、ホテルやレストランなどにチラシを置いて宣伝しなければと思っています。観光ガイドブックには広告を出しました。最近では、アンコールワットを見にたくさんの方が訪れるシェムリアップや、コンポントムのおみやげ物店に製品を卸す計画を立てています。質の良い製品づくりを心がけるだけでなく、リピーターのお客さんが増えるようなサービスを提供していきたいです。



販売会に出展

### 伝統文化を伝える女性たちに期待して

わたしの将来の目標は、カンボジアと日本の両方でシルク製品販売が軌道に乗り、研修センターでの活動が向上するように支えることです。修了生だけではなく、村で織物をしている全ての女性たちが、自分の手で収入を得て家族の生活を良くしていけることを願っています。CYRの活動によって、カンボジアの伝統文化を次の世代へ伝えられるたくさんの女性たちが、これからも生まれてくるに違いありません。



自宅で織る研修修了生 ©小林正典

# 「みんなで布チヨッキン」

-カンボジアの子どもたちへ人形とボールを-

ひとりでも多くの子どもたちへ、人形・ボールを届ける活動「みんなで布チヨッキン」がスタートしてから3年が経ちました。これまでに、4,423人の日本のみなさまのご協力を得て、人形1,922体、ボール3,638個をカンボジアへ送ることができました。

ひとつひとつ手づくりされた遊具は、幼稚園に通う子どもたちや先生たちに大変喜ばれて使われています。物がほとんどなかった園の雰囲気は、見違えるように明るくなりました。ご協力いただいたみなさま、ありがとうございました。

2008年



## 日本では…

2,531名のみなさまにご協力いただき、  
人形752体、ボール2,198個分が完成しました。

### Step 1

布集め



お集まりはレシオサイクル

### Step 2

型紙通りに布をカット



### Step 3

布を束ねて糸で留める



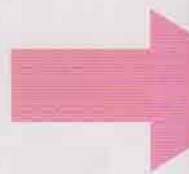
### Step 4

募金に協力



1,000円  
(人形1体、ボール2個につき)

CYRが、布と募金を  
カンボジアへ輸送



## 参加者の感想

- 初めてのボランティアでしたが、楽しみながら参加できました。
- 身近にある布やはさみを使った作業だったので、知識や経験のない私でも気軽に参加できました。
- 子どもの笑顔につながっていると思うと嬉しいです!!楽しかったです!!
- 自分の子どももちょうど今年で5歳。カンボジアでは、重労働をしたり、保育園に通えない、栄養失調が多いなど、日本の生活と比較して考えさせられました。人形を作るところまでしてみたかったですが、あえて作らないで現地の方の手仕事にしていこうという考えは、とても共感できます。



布切りに集中  
(特活)WE2\ジャパンひらつか



作業後に!キッコーマン様



人形を手にする子どもたち



ボール遊びを覚えたよ!!

度は...?!



カンボジアでは...

2,641人の子どもたちへ、  
人形936体、ボール1,472個分を届けることができました。

- ・女性たちが縫製(貴重な収入の機会)
- ・労賃を得る

労賃



- 先生たちが、保育研修で遊具の使い方を学ぶ



- 子どもたちの元へ届く



■ 縫製をお願いしたのは、CYRが支援する小学校のお母さんたちです。

チャン・サレンさん(45歳)



夫と子ども5人の7人家族です。夫は建設労働者。仕事があったりなかったりして不安です。家のお米がなくなった時は、田んぼから食べられるものを拾ってなんとか暮らしています。縫製労賃は、子どもや家族の食事代に充てます。

ブン・ティーラーさん(30歳)



夫は軍隊に勤めていて、1ヶ月に約\$50の収入があります。自分も以前は仕事をしていましたが、子育てのために辞めました。収入になるなら...と思って縫製の仕事に参加しました。子どもの勉強のために使います。

配布後、  
熱心な先生たちが  
自分で材料を集めて作りました。

長崎コレ



# 卒園児の「今」

CYRがカンボジアで保育所を開いてから17年。第一期卒園児は20歳を超えるようになりました。2002年、2004年に引き続き、3回目の卒園児調査を行いました。前回と比べて、中学就学率は1.4倍に、高校は5倍以上に増え、地域での教育に対する意識の変化が伺えます。

今回は、大きなニュースがありました。地方の高校就学率がわずか6.1%の中、大学に進学した卒園児がいたのです。貧困を抱え、高等教育まで受けるのがとても厳しい状況に置かれながら必死で勉強に励んでいる卒園児を、連載で紹介します。



サム・パンニーさん(23歳)  
1994年プレイタウ保育所卒園

「僕は運良く勉強を続けられる環境に生まれた。  
このチャンスを大切にしたい」

U大学で、看護学を専攻しています。今4年生ですが、もしもとお金があれば、医者を目指したいと思っています。貧しい人たちに安く治療したいんです。人間は、がんばらなくちゃ絶対に成功しません。でもがんばった分は、必ず自分の経験になります。

地元の村の友だちは、僕の年になればみんな結婚しているし、子どももいます。でも自分は勉強の道を選びました。年間\$1,500(約15万円)かかる学費は、家の牛と豚を売って、さらに叔父と叔母から借金をして、両親が支払ってくれています(※)。だから、まずは自分が自立して家族を助けたい。そして社会の役に立つようになってから結婚したいと思っています。

今まで色々な友だちを見てきました。貧しいために学校を続けられない友だちもたくさんいました。僕はこうして運良くサポートを受け、勉強できる環境に生まれました。だからこのチャンスはとても大切なんです。試験は難しいし、都会のプノンペンでの生活も本当に厳しいけれど、「自分は絶対に成功する」と信じてがんばっています。

(※)カンボジアの公務員の平均月給は、約\$30

## 家族構成

父  
母  
姉 (26)  
姉 (24)  
本人 (23)  
妹 (18)  
妹 (7)

## 今の暮らしは？

同じ学校に通ういとこと同居し、  
月々の家賃\$30と、  
光熱費\$10を折半している。



U大学の前で、いとこと一緒に

# カンボジアへ行ってきました。

CYRを支援くださっている「東南アジア保育支援実行委員会」のみなさまが、活動を視察されました。



## プノンペンで 見たこと、感じたこと

東南アジア保育支援実行委員会  
田中 志津子 さん



右：ローコンバオ保育所で文字を学ぶ  
左：池の上に建てられた住居

ローコンバオ保育所に通う子どもたちの家庭訪問に、同行させていただきました。プノンペン中心部から車で20分ぐらいのところ、貧困層が多く住んでいる地域です。汚いどぶ池沿いに、小さな家が30軒ぐらい並んでいました。道は赤い粘土質でぐちゃぐちゃで、そこに豚とにわとりが放し飼いにされていました。家の中では豚と人が一緒に生活していて、ガスも水道もなく、水は雨水を溜めて使っていました。共同トイレがありましたが、汚れていて使える状態ではありませんでした。

初めに訪ねた家は高床式で、どぶ池の上に建っていました。家に入るには木の枝の小さな橋を渡るのですが、部屋に入った途端にその橋が壊れてしまうというハプニングもありました。床には10cmほどの四角い穴が1つ開けてあって、ここから下の池に何でも捨てるとのことでした。どぶ池の上なのでハエや蚊なども多いと思います。6畳ほどの家には、目の見えないおばあちゃんと、5歳と1歳半の女の子と、父親・母親の家族5人で暮らしていますが、父親も母親も病気がちのようです。下の子どもは心臓が悪く、父親は大事なバイクを売って治療費にしたため、今は日雇いの仕事で生活もままならないとのことでした。母親は、最後まで一度も笑いませんでした。

その後訪れたのもやはり狭い家で、おばあちゃんと家族5人がプライバシーもなく、どうやって寝るのかなと考えてしまいました。母親は、近くに保育所が出来て子どもが通えるようになったので、文字や良い習慣などを学ぶことが出来ると喜んでいました。その家の男の子に「将来何になりたい？」と聞くと、即座に「ドクター」と返ってきました。その言葉に親も満足そうでしたが、保育所のおかげで親も子ども大きな夢を描くことが出来るようになったのだと思います。

さて、そのローコンバオ保育所はスラムの端の方にありました。お昼寝用のカラフルな枕や文字の絵なども貼ってあって、小さいながらも保育所の機能を果たしていました。この地域には今まで保育所がなかったそうです。親たちは、近くの縫製工場やレンガ工場で働いています。家計が厳しくて、給食費の払えない子どももいますが、そんな子にも給食を食べさせているそうです。親たちは生活に追われて子どもたちの面倒をあまり見る事ができません。放って置かれる子が多かったそうですが、保育所が出来てからは朝も昼もごはんをきちんと食べ、ここで遊び、教育までしてくれるので、親たちはとても感謝しているということでした。朝6時半から、親が帰ってくる夕方の4時まで子どもを預かってくれるので、大いに役立っています。

子どもは、教育を受けることによって大きな夢を持つことができ、親も子どもの将来に希望を持てるようになりました。教育とはいかに大切なものであるかということ、この地域の生活を見て痛感しました。

カンボジアでは、たくさん子どもたちに出会いました。その好奇心たっぷりの目の輝きを見て、私はこの子たちが、きっと未来のカンボジアのためにがんばってくれると思いました。今回の旅行で私が確信したのも、それは私たちの支援の道は、間違っていないということです。CYRを信頼してそれをサポートしていくのは、とてもやりがいのあることだと感じました。

# 給食レシピ①

## ひき肉と玉ねぎの卵炒め&お粥

カンボジアの子どもたちが食べている給食のレシピを、連載でご紹介します。  
ぜひ作ってみてください♪



ひき肉と玉ねぎの卵炒め&お粥



おいし〜！



順番に並んで並んで



みんなでいただきます♪

### 材料 (5人分)

卵	1個
豚ひき肉	25g
玉ねぎ	75g
にんにく	1かけ
ネギ	2.5g
やし砂糖	5g
ナンプラー	10g
塩	1g
サラダ油	大さじ1/2

### ■ 下準備

- ・玉ねぎは、薄切りにする
- ・にんにく、ネギは、みじん切りにする
- ・卵を溶いておく

### ■ 作り方

1. 中華なべにサラダ油を入れ、全体になじませる
2. にんにくを入れ、香りが出るまで炒める
3. ひき肉を入れ、よく炒める
4. やし砂糖を入れて混ぜる
5. 玉ねぎを入れ、しんなりするまでよく炒める
6. ナンプラーと塩を入れる
7. 卵を入れ、ひき肉と玉ねぎと一緒に手早く混ぜる
8. ネギのみじん切りを散らす
9. お皿にお粥を入れ、その上におかずを大さじ2杯乗せてできあがり

カンボジアには、給食が提供される幼稚園・小学校はほとんどありません。CYRは、子どもたちの成長を支えるメニューを考えています。調理担当の方々には、化学調味料を使わなくても美味しくできることを伝えます。給食を開始した当初は、砂糖と塩を大量に入れる習慣がありました。今では玉ねぎから充分甘みができることも理解されました。子どもたちにも好評です。  
このメニューは、1人分、約20円！みなさまからの給食募金で作られています。

### CYRの活動をご支援ください

年会費 正会員 ¥10,000 学生会員 ¥3,000 団体会員 ¥30,000

下記の口座にご送金ください。

■ 郵便局 No.00110-8-36227 (特活)幼い難民を考える会

■ 銀行 三菱東京UFJ銀行六本木支店 (普)No.1351747 特定非営利活動法人 幼い難民を考える会

※CYRは認定NPO法人です。5,000円を超えるご寄付は寄付金控除の対象となります。



〒112-0013 東京都文京区音羽1-10-4 池田ビル3F  
TEL: 03-3943-6971 FAX: 03-3943-6973  
Email: info@cyr.or.jp URL: http://www.cyr.or.jp

子どもたちの明日90号  
◆発行日:2009年6月5日  
◆発行人:深水正勝